東京2020パラリンピック聖火採火式

８月１３日、土佐山田町上改田の鍛冶屋創生塾で**パラリンピック聖火の採火式**が行われました。採火された炎は、白ゆり授産所とかがみの育成園で展示された後、市役所本庁舎1階の市民ホールに展示されました。

１６日には高知市のオーテピアで県内４市村から集められた炎が合わさる**集火式**が行われ、２４日に東京で開催されたパラリンピック開会式で全国の炎と共に聖火台に点火されました。

▲鍛冶屋創生塾　採火式

▲オーテピア　集火式

犯罪や非行のない明るい社会をめざして

７月１日、香美市役所本庁舎で社会を明るくする運動推進委員会による**内閣総理大臣メッセージ伝達式**が行われました。

『第７１回社会を明るくする運動』の７月強調月間にあわせて行われたもので、同運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

伝達式の後、運動推進委員の各関係機関・団体による啓発物の配布等、広報活動が行われました。

夏季少年剣道錬成大会

８月１０日、高知県立武道館で**令和３年度高知県夏季少年剣道錬成大会**が開催されました。

この大会は県内から多くの小学生剣士が集まり、個人戦のみで競い合う大会で、鏡野道場からは高学年５名、低学年４名が出場しました。

低学年女子の部で窪内渚月さんが優勝、今久保沙奈さんが第３位になりました。高学年女子の部では、今久保明奈さんがベスト８になり、高学年男子の部では窪内一穂さんが第３位、小野川幸さんがベスト８になりました。

百石町三角花壇標語コンテスト入賞標語決定！
～小学4年生と香美市婦人会が力を合わせて～

６月７日、**百石町三角花壇標語コンテスト**の最終選考が行われ、入賞８句が選ばれました。

このコンテストは香美市婦人会が企画したものです。同会は高知工科大学が設立された時から「大学ができた嬉しさと、工科大学生を花を植えてお迎えしよう」と、国道１９５号の百石町の交差点にある三角花壇の世話をしています（当時は、土佐山田町婦人会)。

今回、コロナ禍の中、多くの方から「気持ちが落ち込みがちになる」との声があったことから、標語を新しくすることになりました。婦人会の会員だけではなく、環境学習をしている市内の小学４年生も、元気の出る標語を考えました。

応募総数は１６６句(小学４年生１４６句・婦人会２０句)。一次審査で４４句が選考され、最終選考委員会では、時久前教育長など、１６名の方々が審査し、入賞の８句が決定しました。

表彰状は、婦人会が各学校へ赴き、入賞者に手渡しました。「標語は、四季ごとに取り替えることにしています。皆さんに少しでも元気と笑顔をお届けできたらと思います」と話されました。

標語コンテスト入選作品

《小学４年生》

お花たち　みんなの平和を　願ってる
花が咲く　さいた数だけ　笑顔さく
交通安全　お花はいつも　見守っている
婦人会　みんなのために　花さかす
緑を育てる　やさしい　香美市

《香美市婦人会》

町の平和を　祈りて今日も　花開く
お先にどうぞ　譲り合う気持ちが　事故ゼロに
花一つから　笑顔の花を　咲かせよう

香美市民憲章　－平成24年4月1日制定－

前文　私たちの香美市は、美しく、豊かな自然に育まれています。
先人が築き上げた尊い文化や伝統を受け継ぎ、人々が愛と勇気を心に持ち、誰もが幸せを感じられるまちを目指し、ここに市民憲章を定めます。

本文
1、豊かな自然を守り、美しいふるさとを未来に届けましょう。
1、互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう。
1、歴史に学び、伝統を守り、高め、文化の香りあふれるまちにしましょう。
1、子どもたちの笑い声は宝物、みんなで見守り育てましょう。
1、感謝の気持ちを大切に、元気で働き、仲よく住みよいまちにしましょう。

©やなせたかし　香美市イメージキャラクター